平成 23 年度助成先団体一覧

区	番	団体名	事業名	所在地
分	号	事業の目的・社会的必要性(申請書類より	抜粋、一部補足)	助成金額
一般枠	1	兵庫県手話サークル連絡会	県サ連ブロック学習会・研修会	神戸市中央区
			情報交換を行い、聴覚障害者に対する理解を深め、 を招き、手話技術の向上を図る研修会を開催する。	200,000
	2	点訳グループ ともしび	パソコンによる点訳奉仕グループ	加古川市
		パソコンの導入により依頼図書の点訳作業の効率化を図り、視覚障害者の社会参加のお手伝いをし、点訳普及に役立てる。		74,000
	3	ひよどり台エコタウンクラブ「エコミミズプ ロジェクト」	ミミズ飼育による生ゴミ減量化プロジェクト	神戸市北区
		日常生活から発生する生ごみを餌にミミズを飼育し堆肥作りを行い、その堆肥で育てた家庭栽培の野菜を食する、地域単位の循環型社会の創造と CO2 削減を目指す。		70,000
	4	兵庫県喉摘障害者福祉協会 神鈴会	喉摘者の代用音声発声指導員のスキルアップ養 成研修	神戸市中央区
		喉摘者の代用音声法は、日々新しい技術が進化しているのだが、それを指導する職業的専門 家がおらず、喉摘者自らが習得・指導する必要性に迫られている。		78,000
	5	神戸大学灘地域活動センター	災害復興住宅住民と周辺地域住民でのコミュニティ形成支援事業	神戸市灘区
		災害復興公営住宅には、被災前の地域から離れて暮らす単身世帯の高齢者が多く、孤立感も 持たれている。そういった方々のために、友人を作ったり悩みを相談する場所を提供することを 目的に、茶話会やイベントを開催する。		
	6	(特活)あんだんてKOBE	知的障がい児・者余暇活動支援事業~グループ 音楽活動をとおした余暇支援と交流活動~	神戸市灘区
		さまざまな音楽は、音やリズムを通して情緒の発達を促すと同時に自己表現を可能にし、他者とのコミュニケーションを促す。知的障害者や幼児、児童を対象に、音楽を通じた療法的活動会を開催する。		
	7	とびまつ森の会	自然に学び、エコを活用する"里山づくり"を次世 代に伝える	神戸市須磨区
		飛松中学校の学校林と周辺の森林を整備し、里山づくりを行うことによって自然から学び、自然を活用した作業や活動を行い、人々が心地よく過ごせる自然環境をつくる。		150,000
	8	(特活)花と緑のネットワーク川西	「お家で出来る生ゴミの堆肥化」普及無料講習会	川西市
			, ト容器を使って自家堆肥をつくることを目的とした講 にかえて循環させる「ゼロ・ウエイスト」社会を目指	200,000
特定枠	9	トモニプロジェクト	気仙沼復興支援プロジェクト	神戸市灘区
			・仙沼市に対して、市内の仮設住宅へ衣類など物資 支援を行うことで、少しでも早いまちの復興を促進さ	330,000
	10	災害支援団体 チーム神戸	東日本大震災の被災地における『コミュニティサロン』創設	神戸市長田区
		東日本大震災で甚大な被災にあった石巻 移動した住民が交流できる「ふれあいサロ	・ 市湊地区の復興を目的に、残された住民や仮設へ ン」を開設、被災地住民とともに運営する。	330,000

	11	(特活)よろず相談室	つらさ共有 傾聴ボランティア ―被災経験者・若者による被災者支援事業―	神戸市東灘区
		石巻市の仮設住宅への継続的な訪問活動し、阪神大震災経験者(高齢者・障害者や若者)との語り合いを通じて、「人と人のつながり」の重要性を伝え、復興への前向きな一歩を踏み出す 支援をする。		330,000
		(特活)ダンスポックス	いわき・神戸 高校生プロジェクト	神戸市長田区
	12	次代を担う高校生たちが自己を表現するための力を養う場をつくること、高校生同士の交流 促進することで、未来に向けて共に語り合う場をつくること、福島と神戸の芸術活動に関わる が出会い、震災経験をともに分かち合いながら独自のネットワークを構築することを目指す。		500,000

●当日ご出席いただいた審査員(順不同・敬称略)の皆さん

石東 直子 (石東·都市環境研究室)= 審査員長

松村 敏明 ((社福)えんぴつの家)

清水 勲夫 ((財)野外活動協会)

相川 康子 ((特活)NPO 政策研究所)

河口 紅 ((特活)さんぴぃす)

觜本 郁 (あじさい基金-しみん基金こうべを支える会)

津久井 進 (弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所)

二木 一夫 (毎日新聞神戸支局)

中島 淳 (神戸芝居カーニバル実行委員会)